

令和元年8月7日 中小企業政策審議会 金融WG 説明資料

**岐阜県信用保証協会が実施した**

**「カイゼン塾」～改善魂を県内に！～**

# 岐阜県信用保証協会の概況と特徴的な取組み

## 岐阜県信用保証協会の概況

(平成31年3月末時点)

- 保証債務残高 275,350百万円(前年度比90%)、1企業あたりの債務残高 14,034千円
  - ・業種別 : 製造業28.9% 建設業23.3% 小売業13.3%
  - ・金融機関別 : 十六銀行27.3% 岐阜信用金庫23.1%  
大垣共立銀行15.7%
- 保証承諾額 83,474百万円(前年度比97.4%)、1件あたりの承諾額 10,570千円
  - ・業種別 : 製造業26.3% 建設業26% 小売業14.6%
  - ・金融機関別 : 岐阜信用金庫29.9% 十六銀行20.9%  
大垣共立銀行13.9%
- 代位弁済額 5,147百万円(前年度比107.9%)

## 特徴的な取組み

- 創業支援
  - ・創業前、創業時、創業後とシームレスな支援。
  - ・平成26年度より県内大学・専門学校・高校にて起業家マインドを醸成させるべく出張講座を実施。昨年度末までに約4,100名の生徒が受講。  
昨年度、中小企業庁より創業機運醸成賞を受賞。
- 経営支援
  - ・返済緩和先のランクアップ(正常化)への取組み
  - ・「カイゼン塾」の開催(生産性向上)
  - ・知的資産経営報告書策定支援(事業承継)

# 『カイゼン塾』の誕生 ～(株)ペック協会との連携～

- ・中小企業診断士等専門家を派遣する「**経営改善計画策定支援事業**」実施  
→ 取組みの中で実感したこと

経営改善に意欲を持った中小企業者から、経営改善計画の実行を進めることの難しさ、つまり『**具体的な改善の手順や方法が分からない**』といった**生の声**の存在



**特に、生産性向上の必要性が求められている**



現場による**ムダ取りの「カイゼン」支援のニーズがある**ことを痛感



**(株)ペック協会**：生産活動や人員配置などの効率化による  
企業収益の改善に深い知見がある会社



平成30年4月2日業務委託契約締結『**カイゼン塾**』＝「**生産性向上支援事業**」

# 『カイゼン塾』の目的

1. 生産性向上、経営改善に意欲があり、経営支援を希望する  
弊協会の保証利用先企業様を対象に開催
2. 限られた経営資源を有効に活用するため、「生産コストの削減」や「生産のムダを省く」、すなわち生産性を向上して  
いく上で必要となる「カイゼン」の体験と知識の習得を目的  
とする研修の場を提供

# 『カイゼン塾(基礎編)』の概要

・生産方式を理解し、生産性向上のために現状分析と改善活動ができる知識、技能を習得する「**座学研修**」として『**カイゼン塾(基礎編)**』平成30年6月7日(9時～17時)開催

・参加対象者: 代表者や現場リーダー **43社52名**の方が受講

基本項目	内容
①生産活動の基本	<ul style="list-style-type: none"><li>・生産方式の種類 生産方式の種類についてその特性を解説。その生産方式を生産性向上につなげる手法を解説。</li><li>・人、モノ、時間の管理 それぞれの管理の必要性和その方法を解説。 管理に必要なアイテム(5S, 4M, 3定管理など)の運用方法を解説。</li><li>・生産計画と生産統制 生産計画と生産統制に関わる問題点とその対策を解説。</li></ul>
②現状分析とムダの発見	<ul style="list-style-type: none"><li>・現状分析 現状分析を行なう手法を解説。</li><li>・生産設計 生産設計によるコストダウンについて解説。</li></ul>
③生産現場の改善	<ul style="list-style-type: none"><li>・改善活動の基本 現場のムダ発見の目の付け所を解説し、その排除の手法を解説。</li></ul>
④演習学習	<ul style="list-style-type: none"><li>・自社分析 自社の分析を行なう。</li></ul>

# 『カイゼン塾（実践編）』の概要

## ・具体的な進め方

～モデル企業において現場改善実践を行なう(2S, ムダ発見、ムダ排除)～

- ① モデル企業を選定、モデル企業へ参加者全員が講師と共に訪問
- ② グループ単位で具体的改善施策を検討、実践  
カイゼンシートに改善案をまとめ、毎回結果報告会の中でモデル企業に対し改善案発表
- ③ 受講者はカイゼン塾にて学んだ手法を活かし、自社のカイゼンを実践  
第2回から第5回の受講時に改善シートを提出し発表

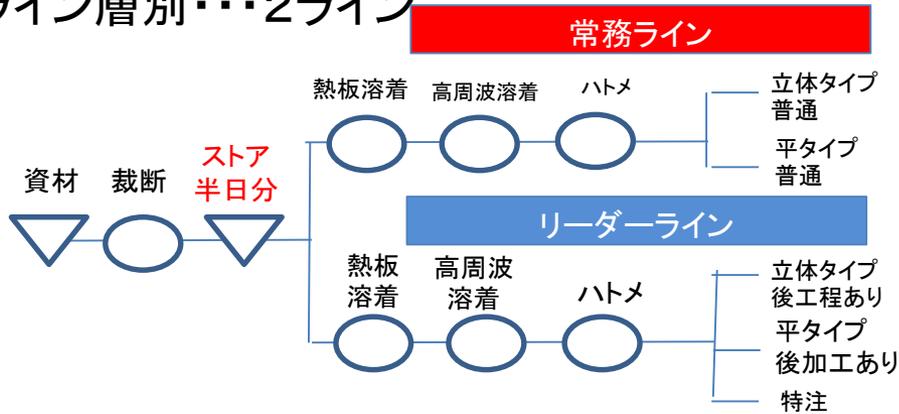
## ・実施期間 9月～1月中に開催

・参加対象者: 代表者や現場リーダー **15社19名**の方が受講

	回	日程	内容
年間1回開催	第1回(9月6日・7日)	1泊2日	開校式、モラール訓練、座学、現場改善実習
	第2回(10月5日)	1日	現場改善実習
	第3回(11月1日)	1日	現場改善実習
	第4回(12月7日)	1日	現場改善実習
	第5回(1月11日)	1日	実践成果発表、閉校式

# 『カイゼン塾（実践編）』受講前

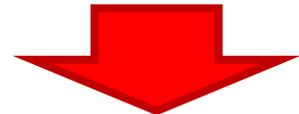
ライン層別・・・2ライン



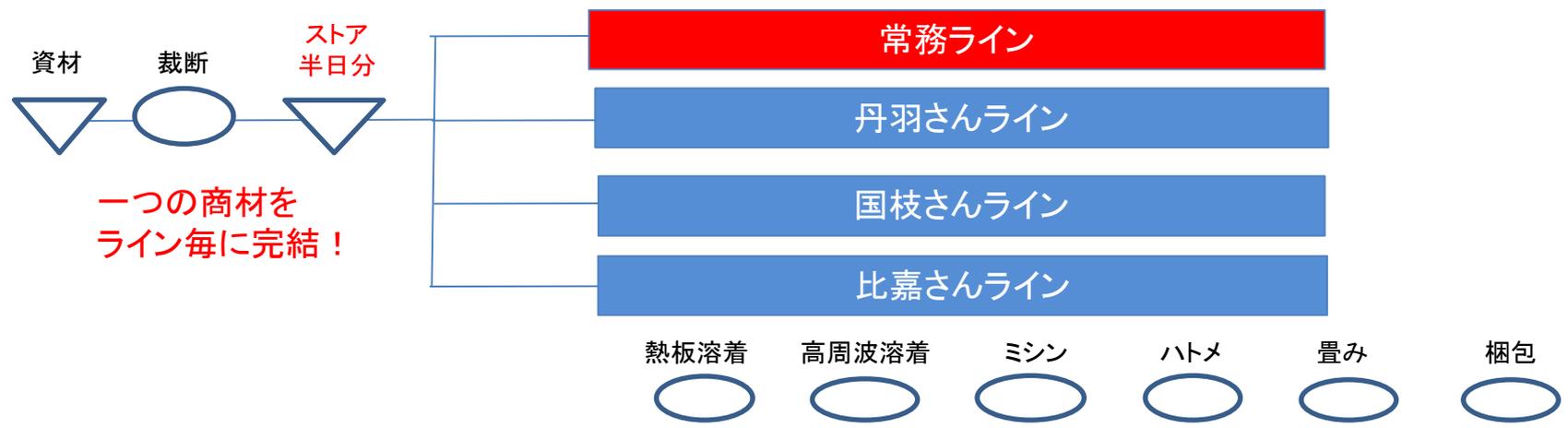
受注管理板製作



不要材・端材を用いて作成



# 『カイゼン塾（実践編）』受講後～組織・工程管理フロー変更～



# 実践企業としての成果

## 改善成果

(商材別累計)

活人

17.15名

活スペース

320.1m<sup>2</sup>

**効果金額 6,163,800円/年 (活人2名相当)**

生産性/人

**25%向上** (人員増 20% 生産量増 50%)

生産品目/日

**2倍** (2商材⇒4商材が同時生産可能に)

# 実践企業としての成果（モニタリング）

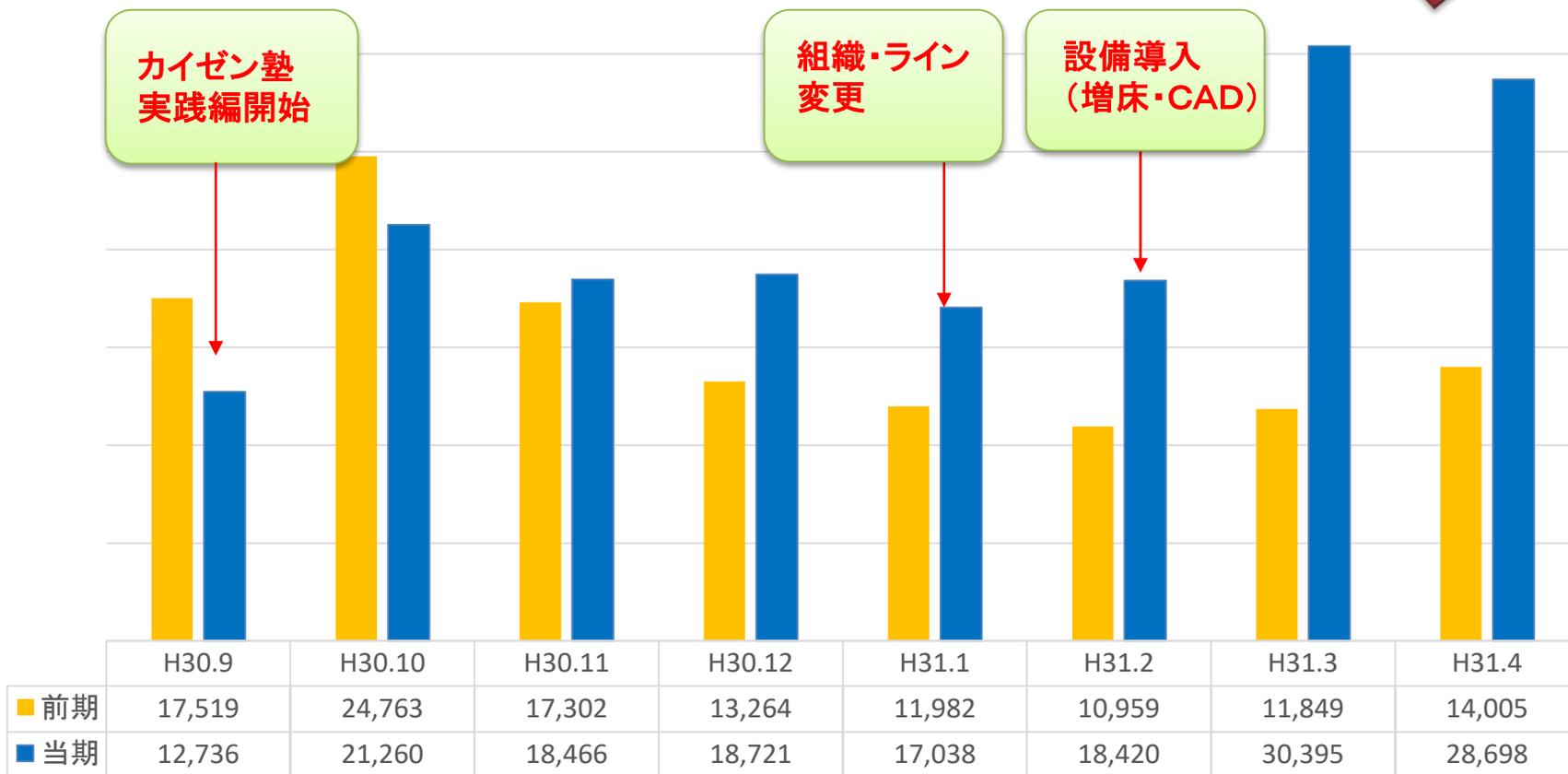
## 売上高推移

生産性向上

カイゼン塾  
実践編開始

組織・ライン  
変更

設備導入  
(増床・CAD)



(単位: 千円)

# 『カイゼン塾』参加者の声（抜粋）

## モデル企業

- ・人は皆、変わることや変化することをきらいます。
- ・変化を求められると言いつつや難しい理由をさがします。
- ・今回の「カイゼン塾」を通して一番感じたことは、まずはやってみることです。
- ・だめならば、元に戻せばよいと考えることです。
- ・前に進めば、結果は決して「ゼロ」ではないのです。
- ・『カイゼン塾』という場を与えていただいた岐阜県保証協会様、そしてご指導いただいたPEC協会様、また塾生の方々に感謝しております。

## 受講企業

- ・生産のムダが見つけやすくなり、生産計画も立てやすくなった。
- ・仕掛の停滞が問題になっていたのでカイゼンのやり方が参考になった。
- ・何がムダになり、何に目をつければ効率よくなるのか絶えず考えて行動していきたい。
- ・協会によって改善がなされた企業の具体例をもとにした講義を受けたい。

# 『カイゼン塾』まとめ

## 参加者のメリット

- ・実践編の場で習得したノウハウを自社に持ち帰って実践し、「カイゼン」を継続することで生産性向上を図ることができる。

## モデル企業のメリット

- ・費用負担無く「カイゼン」指導を受けることができた。

## 協会メリット

- ・協会の顧客満足度を高め、信用保証の付加価値を高めることができた。
- ・協会職員が『カイゼン塾』に参加することでカイゼンノウハウを取得でき、人材育成に繋げることができた。



協会の保証を利用すると、『カイゼン塾』が受講できて、現場改善を体験し、その知識を習得することができ、その結果、生産性向上が実現できる！



「受講者の輪を広げ、協会の付加価値を高める。」